

# 上谷口の家

鹿児島市  
設計 / 株式会社 建築工房 匠  
施工 / 株式会社 建築工房 匠  
棟梁 / 雪丸 浩好

## 知事賞



### 自然素材に包まれた、風格漂う木の住まい

天井の無い空間づくりにより、開放感と木の魅力にあふれる住環境が実現



自然豊かな風景に馴染む縁側

建主の「55年間この地で育てた杉をふんだんに使って、自然の風を感じる家づくりをしてほしい」という願いから始まった『上谷口の家』の家づくり。無垢の木を構造材だけでなく内装材としても多用し、木の持つ力強さと爽やかな香りに包まれた住空間となりました。建設地の風を読み取り、通風に配慮した設計を行う事で実現した風通しの良い家には、土や和紙・漆喰といった自然素材も積極的に使われており、快適性が高く、自然と寄添って生活できる空間が広がっています。

## 開放的で心地よく 明るく元気になる「集いの家」

自然を大切にした昔ながらの家づくりを望まれていた建主。「思いが結実した家。朝霞にかすむ茶畑が美しく、朝夕には心地よい風が家の中を抜けていきます」と、大満足の木の家づくりだったご様子。入居後も、夏場でもエアコンは風の無かった一日だけしか使用していないとのこと。建主曰く「過ごしやすい住環境のおかげで、近くに住む子や孫、母や親せきの多くが集まってくれる」そうでまさに「集いの家」となっているようです。快適な住環境を支えるのは、内装にふんだんに使われている木材に他なりません。もともと建設地にあった杉の木を使うことで、風土に見合った調湿性能を十分に発揮し、土や和紙といった自然素材と相まって、豊かで過ごしやすい住環境を創出しています。





匠の技が光る美しい障子▶

▼畳と木の調和が心地よい和室



美しい木目でお客様を出迎える玄関ホール

受賞の  
コメント



設計 / 株式会社 建築工房 匠  
福迫 健さん

お茶畑の中に建つ緑豊かな環境に調和するように、外観は昔ながらの母屋と納屋を併せ持つ二ツ家をイメージしました。両親が植えて55年間育てた杉・檜を製材・乾燥させて、柱梁や内装材に使用し、他にも100%かごしま材を活用しました。自然の採光と通風を存分に活かし、土壁の蓄熱効果など断熱に配慮した家づくりを行う事で、昼間は照明を必要とせず、夏はエアコン無し、冬も短い暖房稼働で全室が暖かくなる、かごしま型の省エネ住宅です。自然と農業を楽しみながら、長期に継承してもらえらる認定長期優良住宅が完成しました。

サッシ外部に設けたスダレ掛け。  
外観のアクセントにもなっています ▶

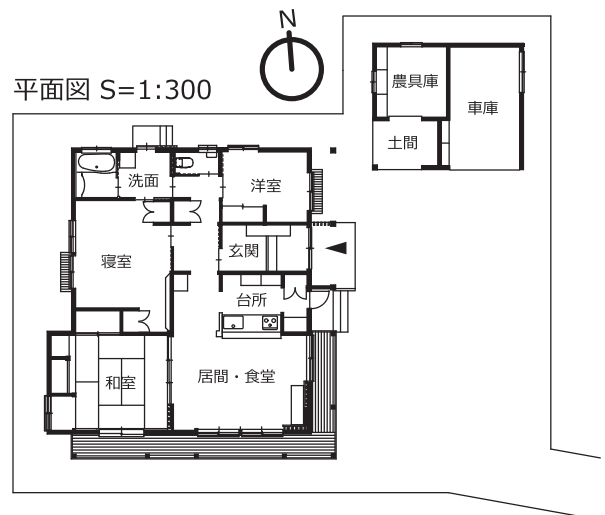


▼二ツ家をイメージした建物配置。  
周囲に広がる茶畑に馴染む広がりのある外観



DATA

平屋建て  
平成 27 年 8 月完成  
敷地面積：410.01 m<sup>2</sup>  
建築面積：136.50 m<sup>2</sup>  
延床面積：114.40 m<sup>2</sup>



募集条件への適合状況				
かごしま木の家の基準	認証かごしま材の家の基準			
「かごしま材の使用量が10㎡以上」かつ「かごしま材の使用量の割合が全体の50%以上かつ構造材の50%以上」	(1) 柱・半柱・間柱が、当該部材の体積比で80%以上	-	(3) 造作材、下地材及びフローリングの合計面積が16㎡以上	-
	(2) 柱・梁・桁などの構造材が、住宅の延べ面積に0.023㎡/㎡を乗じて得た数値以上	○	(4) 上記(1)(2)のいずれかにおける認証かごしま材の実使用比と(3)における同材の実使用比の数値の合計が1以上	-